

美術にふるか

ベストセレクション 日本近代美術の100年

Art Will Thrill You!
: The Essence of
Modern Japanese Art



section

1.MOMAT

コレクションスペシャル
MOMAT Collection-60th Anniversary Gala
東京国立近代美術館 60周年記念特別展

2012.10.16 TUE - 2013.1.14 MON

主催：東京国立近代美術館、NHK、NHK プロモーション
後援：文化庁 特別助成：公益財団法人 石橋財団
協賛：損保ジャパン、日本写真印刷



東京国立近代美術館

section 1. MOMAT

コレクションスペシャル
MOMAT Collection-60th Anniversary Gala

日本近代美術の100年

第一部では、4階から2階の所蔵品ギャラリーで、当館所蔵の13点の重要文化財(寄託作品を含む)をはじめとする選りすぐりのコレクションを紹介する「MOMATコレクション」のスペシャル・ヴァージョンが展開されます。

国指定の重要文化財は、現在、美術工芸品では1万件以上ありますが、その多くは古い時代のもので、明治以降の絵画・彫刻に限ると、51件しかありません。そのうちの13点(寄託作品も含む)が、東京国立近代美術館に所蔵されています。

最近では、2011年に上村松園《母子》(1934年)と、安田靉彦《黄瀬川陣》(1940~41年)が新たに指定されたばかりです。これらの貴重な作品は通常、保存の観点から1年のうちに会期を分けて少しずつ展示されますが、今回は60周年を記念して、まとめて一度に公開します。

加えて、これを機に所蔵品ギャラリーが10年ぶりにリニューアルされます。ゆったりと寛げる休憩スペースを拡充するほか、所蔵作品のハイライトをご覧いただけるゾーンや日本画を堪能できるゾーンなどを設け、快適で親しみやすい空間づくりを目指します。生まれ変わったギャラリーで、60年間のコレクションの精髓に触れる、またとない機会です。

2012年10月16日(火) -
2013年1月14日(月・祝)

開館時間：午前10時～午後5時

(入館は閉館の30分前まで) *金曜日は午後8時まで開館

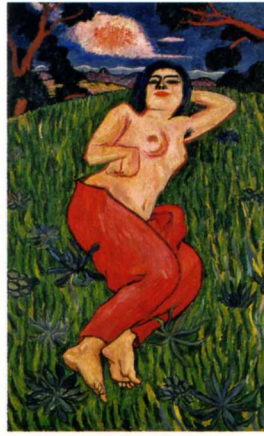
休館日：毎週月曜日

(祝日又は振替休日にあたる月曜日は開館し、翌日休館)、
年末年始(12月28日～1月1日)。ただし、12月25日(火)は開館。

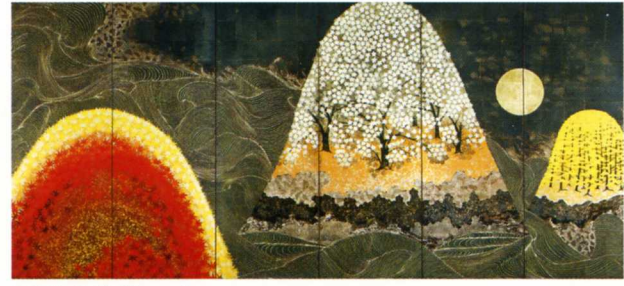
観覧料	当日	前売	団体
一般	1,300円	1,100円	900円
大学生	900円	800円	600円
高校生	400円	300円	200円

*団体料金は20名以上。*中学生以下、障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。*来館当日が誕生日の方は無料(要証明書)。*12月1日(土)の開館記念日は無料。*料金はすべて税込価格。*前売り券は、8月1日から10月15日まで販売*早割りペア券(一般2名様：1,800円)は6月1日から7月31日まで販売。

重文全13点を含む名作、一挙公開。



萬鉄五郎《裸体美人》1912年*



加山又造《春秋波瀾》1966年



安井曾太郎《金善》1934年



鏡木清方《三遊亭円朝像》1930年*



古賀春江《海》1929年



原田直次郎《騎龍観音》1890年*
東京国立近代美術館寄託(護国寺蔵)



岸田劉生
《道路と土手と堀(切通之写生)》1915年*



土田英徳《湯女》1918年*



東京国立近代美

美 ぶ

ベストセレクション

美術にふるえた

美術を体感すること。深く
それらすべての出発点である衝撃
あらためて大切にしたい

今年開館60周年を迎える東京国立
全フロアを使い、日本近代美術の
60年間の収集活動の成
60年前の日本における近代美術館
両者が緊密に連動して、みなさまに

*は重要文化財指定
表紙：上村松園《母子》1934年*
裏表紙：奈良原一高《「無国籍地」より》1954年
所蔵表記のない作品は東京国立近代美術館蔵



中村森《エロシエンコ氏の像》1920年*

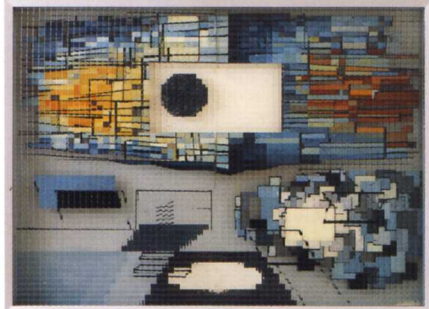
現代の原点としての50年代を問う。



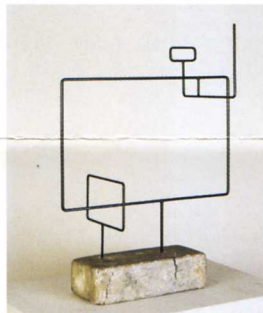
工藤哲巳《増殖性連鎖反応》1956-57年 国立国際美術館
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2012
D0042



山下菊二《あけぼの村物語》1953年 日本画廊



山口勝弘《ヴェトリーム No.47 (完全分析方法による風景画)》1955年



堀内正和《線A》1954年
兵庫県立美術館



濱谷浩《津軽の男 青森「裏日本」より》1955年
山口県立美術館



池田龍雄《怒りの海 (内灘シリーズ)》1953年



日大映研「ブープー」1960年 映研シネマ



鶴岡政男《転がっている首》
1950年 群馬県立館林美術館



中村宏《階段にて》1960年 宮城県美術館



監督：亀井文夫「流血の記録 砂川」1956年
日本ドキュメントフィルム

SECTION 2. 実験場 Experimental Ground 1950s

東京国立近代美術館が開館した1952年は、サンフランシスコ講和条約の発効によって、日本が主権を回復した年にあたります。まさに戦後の復興期であったこの時代には、戦争体験や現実の様々な矛盾から眼を背けることなく、来るべき社会の理想を追い求める意欲が息づいていました。

50年代の美術もまた、社会的な出来事に深い関心を寄せながら、現実への積極的な働きかけを図ります。その過程で、文学、写真、映画、建築、デザイン、漫画といった他分野との垣根を越えた交流が盛んに繰り広げられたことは特筆すべきです。このジャンル横断的な想像力が、既存の形式に縛られない新しい表現を生み出す力になったのです。複雑さを増す現実に対応した新しいリアリズムの確立や、制作者と鑑賞者の共同性の場の創出など、いくつかの課題が複数の表現領域で共有されました。

第2部では、こうした50年代美術の精神と活力を、同時期誕生した近代美術館への含意も込めて「実験場」というキーワードで捉えることにしました。絵画、彫刻、版画、素描、写真、映像を含む300点を超える作品と資料によって、その実験精神が提起した多様な可能性を歴史的に検証し、そこから現在の美術と社会の関係を、さらには美術館の未来を考えるヒントを引き出すことを試みます。



[交通] 東京メトロ東西線竹橋駅 1b 出口より徒歩3分

〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1 <http://www.momat.go.jp>

特設サイト <http://buru60.jp/>

問い合わせ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)

東京国立近代美術館

館60周年記念特別展

美術に ふるっ!

Art Will Thrill You!
: The Essence of
Modern Japanese Art

日本近代美術の100年

ことがありますか?

動くこと。知的に考えること。

「ふるっ!」という言葉で表しました。

と思う美術鑑賞の原点です。

代美術館は、この重要な年を記念して、
0年を回顧する大展示会を開催します。
を問う第1部が縦糸とすれば、
主の時代を考察する第2部は横糸であり、
さまざまな感動を投げかけることでしょう。



美術に
ふけるっ!

ベストセレクション

日本近代美術の100年

SECTION

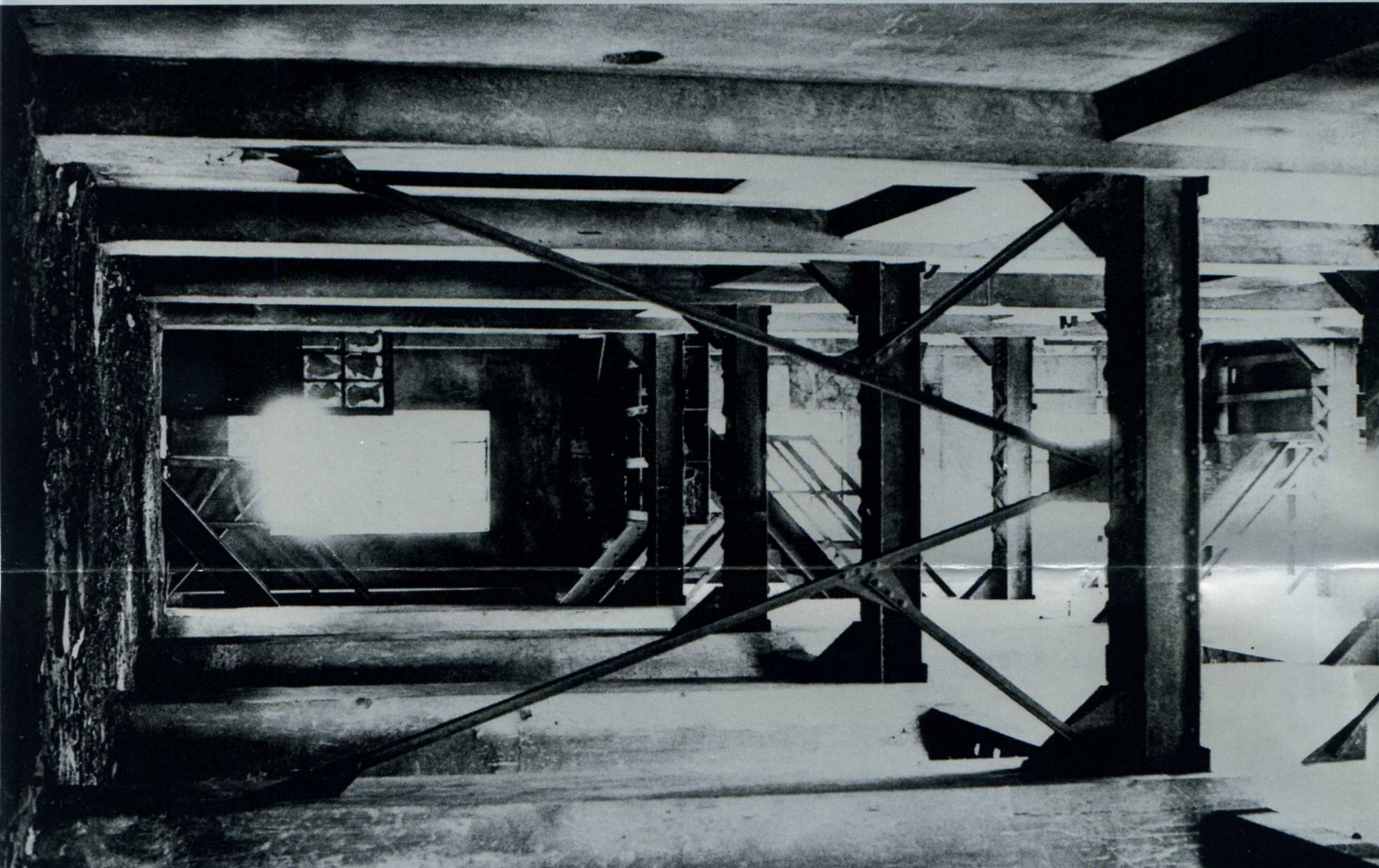
2.

Art Will Thrill You!
: The Essence of
Modern Japanese Art

東京国立近代美術館

MMMAT

The National Museum of Modern Art, Tokyo



2012.10.16 tue - 2013.1.14 mon

Experimental Ground 1950s

東京国立近代美術館
60周年記念特別展



1952-2012
60th Anniversary